

名作文庫通信

2021年 冬号



冬季特集

にっぽん、ぽ、ぽ、ぽっ

日本文学のぬくもり

今昔物語集



作者未詳
大岡玲の訳

【今昔物語集】

作者未詳 大岡玲/訳 光文社古典新訳文庫/刊

芥川龍之介「鼻」「羅生門」の原話のみならず、エロに下卑た笑い、有名人の噂にスキャンダルの宝庫! 平安時代末期の民衆や勃興する武士階級、人間味あふれる貴族、僧侶らの姿をリアルに描く、日本最大の仏教説話集。(TRC MARCより)

【遠野物語】

柳田国男/著 新潮文庫/刊

雪女、天狗、オシラサマ、オクナイサマ、ザシキワラシ…。遠野郷の伝説を流麗な文体で綴った、柳田国男の愛と情熱が行間にあふれる民俗洞察の名著。山本健吉、吉本隆明、三島由紀夫による解説も収録。折り込みの地図付き。(TRC MARCより)



「名作文庫」とは?

下井草図書館では文学、哲学、思想、歴史などの名著名作を文庫版・新書版で集め、「名作文庫」としてご紹介しています。



今月の1冊 心の旅を描く物語



【雪国】

川端康成/著 新潮文庫/刊

東京帝国大学在学中に颯爽と文壇に登場し、横光利一らと新感覚派の文学を発表。若さあふれる、みずみずしい名作『伊豆の踊子』などを書く。36歳で、雪深い温泉町を訪れた男と芸者との哀切な恋を描いたこの作品を発表。日本的美を追求する川端文学のひとつの頂点にたどり着いた。その後、発表した『千羽鶴』『古都』も評価され、1968年、日本人初のノーベル文学賞を受けた。

新着本 新しく買った本のご紹介



【アルプスの少女ハイジ】

ヨハンナ・シュピリ/著 /訳 光文社古典新訳文庫/刊

両親を亡くした少女ハイジは、アルプスの山小屋で暮らす祖父のもとに預けられ、山の生活を満喫。だが、足の不自由な令嬢の遊び相手を務めるため、都会の裕福な家に住み込むことに…。スイス文学の名作の新訳。挿絵も多数収録。(TRC MARKより)



【刺青 痴人の愛 麒麟 春琴抄】

谷崎潤一郎/著 文春文庫/刊

若い女の肌に畢生の刺青を施す江戸の彫師を描いた「刺青」、音曲の師匠・春琴に尽くす弟子の一生の物語「春琴抄」…。揺るがぬ美意識で問題作を世に問い続けた谷崎潤一郎の戦前の傑作4篇。井上靖の評伝と作品解説も収録。(TRC MARKより)

編集後記

いろは歌だが、「弘法大師の作ともいわれている」と、記憶していたが、そう聞いたときから、そうとうな年月も過ぎているので辞書で調べてみた。いろは歌が成立したのは、平安中期以後。これは、弘法大師空海の死後にあたるので、昨今では、弘法大師の作ではないとされているらしい。常識も時代で変わっていくものだ。

発行：杉並区立下井草図書館
杉並区下井草3-26-5

